



第3回

Jリーグ・大阪ダービー

※2023年5月の毎日新聞記事を元にした文章です。校閲し、直すべきところを指摘してください。なお、原稿ではセレッソ大阪を「セ大阪」、ガンバ大阪を「ガ大阪」と表記しています。

○セ大阪2―1ガ大阪●（5月

藤選手。3万4517人の歓声

3日・パナソニックスタジアム吹

スタジアムを揺らした。

田

セ大阪としては苦しい試合展開

セ大阪がガ大阪との「大阪ダービー」を制した。

だった。前半に先制するも、後半11分に追いつかれた。さらに攻勢

キタとミナミで街を二分する

に出るセ大阪に次々に決定機を作

「大阪ダービー」。60回目の節目

られた。小菊監督は後半23分に加

に、セ大阪の小菊昭雄監督は「ダービーは結果、とにかく結果にこだわらる。少々内容が悪くても絶対に勝つんだ」と選手に伝えた。その言葉どりの劇的勝利だった。

藤選手とFW北野颯太選手を投入し、2トップでカウンターを狙う戦術に変更。最後まで「形」にこだわったガ大阪との差が結果となって表れた。

1―1で迎えた後半45分。自陣深くからマイボールをつないで、左に展開した。DF山中亮輔選手のピンポイントクロスを途中出場

のFW加藤陸次樹選手が蹴り込んだ。「（歓声に）奮い立った」と加

リーグ戦では2019年9月以降負けがなく、4連勝は98、99年シ

ーズン以来となった。J1のリー

リーグ戦における大阪ダービーの通算成績はガ大阪の24勝7分け15敗。

昨季もセ大阪はダービーを制してから勢いに乗り、リーグ5位と躍進した。海外でも幾多のダービー戦を経験してきたMF香川真司選手は「勝つことがどれだけ重要なことかキャリアを通じて感じている。この勢いを継続してやっていけるようにと前を向く。苦しむライバルを尻目に上昇気流に乗る。